

## 目標達成計画

作成日: 令和 5 年 3 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員としての日常的な交流がコロナ感染予防対策のため出来ない	利用者も地域とのつながりが持てるよう事業所自体が、地域行事への積極的参加を実践し、利用者が日常的に地域と交流が図れるよう取り組んでいく	地域包括センターとの連携事業を促進する 地域行事、会議の参加を促進する 地域貢献、地域連携に向け他事業所との交流や連携の検討を促進する	12ヶ月
2	10 (6)	運営に関する利用者、家族等の意見交換について、今現状は、紙面での情報の共有が主であり、面会時に直接いただいた家族からの意見、ホーム便りに添付した返信で頂いた意見が多く、利用者家族全員からの運営に関する意見が聞けていない	コロナが終息したら家族会を開催し、対面での意見交換の機会を増やしたい	家族会を開催することで、利用者、家族の思いを再確認し、情報を取り入れることで満足して頂ける運営が出来るようにする	12ヶ月
3	16	災害対策	年2回火災、地震、昼夜想定した防災訓練を行っているが火災、地震のみならず、台風・土砂災害などの想定範囲を拡大した実践的訓練を地域住民とともにやり、地域との連携や協力作りを強化していく事を旨とする	利用者一人一人の心身の状態を考慮した避難訓練を行い、職員の災害に対する意識を高め、利用者の安全を確保する体制を整え、職員の実践力が身につくようにする。また、運営推進会議において地域住民に災害時の協力体制の再確認と確保を行う	12ヶ月
4	47	服薬マニュアルに沿って服薬介助を行っているが、服薬確認を行う際、口腔内のチェックも行っているが利用者が舌の下に薬を隠し職員が離れてから薬を吐き出すケースが何度かあった。	確実な方法で服薬介助を行う 薬の知識を深め服薬ミスをなくすようにする	定期的にスタッフ同士で服薬マニュアルのロールプレイングを行い流れ作業の習慣にならないようにする。薬の変更時は与薬管理表を都度更新し利用者が何の薬を飲みその効果を知っておくようにする	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。